

Produttori del Barbaresco

プロドゥットーリ デル バルバレスコ

偉大な協同組合が生み出す最高品質のバルバレスコ

バルバレスコは、王のワイン、バローロと並ぶ「女王のワイン」として知られていますが、19世紀末までバローロ程の知名度はなく、バルバレスコで収穫されたネッビオーロからバローロのワインが作られることもよくありました。バローロとバルバレスコの違いを初めてラベルで明確に区別したのが1894年に9つのブドウ農家を結集し、バルバレスコ初の生産者組合カンティーネ・ソシアーリを創設したドミツィオ・カヴァッツァでした。同組合は1930年に解散しましたが、1958年、小さなブドウ農家を存続させるため、教会の司祭の下で19軒の農家が結集し、プロドゥットーリ・デル・バルバレスコが誕生しました。



ワイン・アドヴォケート1990年2月号でロバート・パーカーに「世界のどの協同組合よりも高水準のワイン作りを継承している」と言われしめ、トップ生産者の地位を確立し、今や50以上の農家が加盟。畑の総面積は120haに及びます。組合の方針で各々の畑は、畑の所有者である農家が独自に管理し、伝統を守りながら上質なネッビオーロを育てています。樹齢7年以上の畑から選定した凝縮感のある濃厚なバルバレスコと、樹齢7年以下の若い畑から採れた軽快な味わいのネッビオーロ・ランゲを毎年リリースし、特に良い年により、単一畑のリゼルヴァが9種類生産され、ボルドーワインのように長期熟成の効く極めて上質なワインを輩出しています。【写真:カンティーネ・ソシアーリの創設者ドミツィオ・カヴァッツァ】

バルバレスコを代表する優れた生産者の一つ

品質重視をモットーに掲げ、ブドウの品質基準を厳しく設定しているため、最良の出来のブドウのみが納入を許され、収穫したブドウは傷がつかないよう小さなカゴに入れて運ぶなど、その取り扱いにも厳しいルールが定められています。このような徹底した管理のもと、協同組合でありながら安定した品質を維持しています。ワイン評価サイトでも常に高得点を獲得しているプロドゥットーリ・デル・バルバレスコは、バルバレスコを代表する優れた生産者の一つとして世界で広く認知されています。



～Nebbiolo Langhe～ 若いうちから楽しめる鮮やかな果実味

2024 Nebbiolo Langhe

上代価格 ￥4,800(税抜)

2023 Nebbiolo Langhe

上代価格 ￥4,400(税抜)

ネッビオーロ ランゲ

JANコード: 4543190214025 (2023VT), 4543190214827 (2024VT)

若樹のブドウを使用したプロドゥットーリ・デル・バルバレスコの入門編。

■テクニカル情報■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州 D.O.C.ランゲ 品種:ネッビオーロ 100% 樹齢:7年以下
畑の向き:南、西、東 土壌:カルシウムに富んだ石灰岩と粘土の混じる砂質土壌 醸造:ステンレスタンクを使用し28℃で発酵。日に2度ルモンタージュしながら20日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵後、オークの大樽で4ヶ月熟成。
生産量:約110,000本(2022VT)、約120,000本(2023VT)

■コメント■ミディアムボディで、熟した赤系果実のアロマにホワイトペッパーやアニスのスパイシーなニュアンスが香る。

■2023 ヴィンテージ情報■ この年のイタリアは、生産者にとって非常に厳しい年でした。近年の気候変動の影響を受け、晩春から初夏にかけて洪水や雹、干ばつが発生しました。例年にない大雨により、多くの畑でベト病が蔓延し、この年の生産量は、前年に比べて約20%減少しました。しかしながら、被害を免れたブドウの樹からは、少量ながらも健全なブドウが収穫でき、香り味わいともにクオリティの高いワインが作られました。

■2024 ヴィンテージ情報■ 2024年の生育期は、穏やかな冬で幕を開けました。冬から春にかけて数回まとまった雨が降り、深刻な干ばつで不足していた土中の水分量を部分的に補うことができました。4～5月は気温の変動が大きく不安定で、樹冠管理や病害対策に苦労しました。夏は暑かったものの、9月から10月にかけて雨が多く、収穫はしばしば中断せざるを得ない状況でした。チャレンジの年となりましたが、厳しい選果を経たブドウからは、赤い果実の風味とフローラルでスパイシーなニュアンスを備えたバランスの良いバルバレスコができました。



2023VT★ワイン・アドヴォケート 92点:外観は輝きのあるルビー色。ブルーベリーや酸っぱいラズベリーのような歯ごたえのある果実味が広がる。バルバレスコに使用しない畑やより温暖なミクロクリマの気候下で育ったブドウを使用。マセラシオンは21日間と比較的短い。

《飲み頃:2024-2029年 | 2025/1/31 掲載》

2023VT★ヴィノス 90点:プロドゥットーリのエントリーレベルのワインだが実に味わい深い。漬した花や甘い赤系果実、チョーク、ミントの香りが綺麗にふわりと立ち上る。芳醇なミディアムボディの味わいで、全ての面で期待を裏切らない。バルバレスコ指定区画のブドウを使用した非常に希少なワイン。魅力的な一本。《飲み頃:2025-2031年 | 2025/10 掲載》

2023VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター89点 ★ワイン・エンスージアスト92点

～Barbaresco～ テロワールを忠実に反映したクラシックなバルバレスコ

2022 Barbaresco

バルバレスコ

上代価格 ￥7,200(税別)

JANコード:4543190213325

安定した品質と優れたコストパフォーマンスが魅力のバルバレスコ。

■**テクニカル情報**■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州 DOCG バルバレスコ 品種:ネッビオーロ 100% Alc.:15%
樹齢:7 年以上 標高:200～400m 畑の向き:南、西、東 土壌:カルシウムに富んだ石灰、砂礫土壌 醸造:ステンレス
タンクで果皮と共に日に 2～3 度ルモンタージュしながら 28℃で 28 日間発酵。50hlのキャスクで 20 ヶ月熟成。
生産量:300,000 本(25,000 ケース) 瓶詰:2025 年 3 月

■**2022 ヴィンテージ情報**■ 2022 年は降雨量が極めて少なく、温暖で乾燥した気候が続いた年でした。春から夏にかけて晴天が続き、畑では果房を強い日差しから守るため、キャノピー・マネージメントを丁寧に行いました。病害の発生もほとんどなく、小粒ながらも健全なブドウが出来ました。ネッビオーロの収穫は、例年より約 1 週間早く始まり、収量はやや少なかったものの、心地よい果実味と豊かなアロマを備えたバランスの良いワインに仕上がりました。

■**コメント**■ 黒系果実や赤系果実、心地よいスパイスのニュアンスが香る複雑で心地よいアロマ。厚みと奥行きのある味わいを滑らかなタンニンが支え、長く美しい余韻へと導きます。生パスタや肉料理、特にラム肉や野鳥と良く合い、マイルドな味わいのチーズと抜群の相性です。

★**ワイン・アドヴォケイト 94 点**: アルコール度数 15%と比較的高めながら、終始エレガントで均整の取れた味わい。カシスやワイルドチェリーを思わせる果実のアロマに、香り高いライラックの花や土のニュアンスを帯びたアイリスの根の香りが重なり、若々しいネッビオーロらしい生き生きとした表情を見せる。口に含むと、深みとフィネスが瞬時に感じられ、温暖なヴィンテージらしい豊かな果実味と、この協同組合の特徴である緻密さやフレッシュさがバランス良くまとまっている。32 万本に及ぶ生産量でありながらも、品種本来のピュアさが際立つ、調和の取れた見事な仕上がり。《飲み頃:2027-2042 年 | 2026/7/24 掲載》

★**ジェームス・サックリング 94 点**: 生き生きとした果実味を湛えたワインで、スミレやシナモン、ブラッドオレンジ、ブラックチェリーの魅惑的な香りにミントやバルサミックなニュアンスが重なる。フルボディの味わい。一口うちに含むと柔らかな滑らかな質感があり、パウダリーでピロードのようなタンニンと生き生きとした酸が印象的。チョコレートの風味を帯びた後味にリコリスのニュアンスが重なり、口中を包み込むような余韻が広がる。美味でバランスが良い。《2025/11/18 掲載》

★**ヴィノス 93 点**: ダークチェリーやプラム、クローブ、リコリス、モカの香りを備えた非常にふくよかな力強いワインで、奥行きも十分ある。この年のワインとしては珍しく、口中に響き渡るようなテクスチャーが印象的だ。もう少し華やかな香りと、より洗練されたタンニンが欲しいところだが、2022 年というヴィンテージを考えれば、その点はやむを得ないだろう。リゼルヴァ用の果汁を一部ブレンドしたことが、味わいの完成度を高める要因となった。全体的に見れば、非常に優れた出来栄。《飲み頃:2027-2034 年 | 2025/10 掲載》

他誌評価: ★**ワイン・スペクテーター 93 点** ★**ワイン・エンスージアスト 93 点**【エディターズ・チョイス】



Barbaresco Riserva〜 多様なテロワールが生み出す多彩な味わい

イタリアで最も権威あるワイン誌の一つ『ガンベロ・ロッソ』で最高評価のトレ・ビッキエーリを獲得したプロドットーリ・デル・バルバレスコが手掛けるバルバレスコの9つのリゼルヴァは、偉大な年へのみ作られ、収穫年から5年の歳月を経てリリースされます。各々の畑の個性を最も純粋かつ最高の形で味わえるよう、全て同じ醸造方法で仕込まれます。



■**テクニカル情報**■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州クーネオ県/D.O.C.G.バルバレスコ地区
醸造:30℃で発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。相性料理:生卵を使ったパスタ、リゾット、白身肉、赤身肉、ジビエ、鹿肉
熟成ポテンシャル:収穫年から約25年

■**品種**■ バルバレスコ地区で栽培されたネッビオーロ 100%。13世紀からピエモンテで栽培されているこの品種は、奥深く魅惑的な風味を持ち、熟成に時間がかかり、畑の土質や天候から影響を受けやすいため、テロワールの個性がワインの香りや味わいに色濃く反映されます。

■**気候**■ 暑い夏と穏やかで暖かい春と秋、雪の降る寒い冬の気候が特徴的で、年間気温は-10℃~35℃。日照時間がブドウの品質を大きく左右するため、プロドットーリ・デル・バルバレスコのネッビオーロは、主に南向き、南西向き、南東向きの日当たりの良い斜面に植樹されています。

■**2021 ヴィンテージ情報**■ ※2021年ピエモンテ・バルバレスコ地区は、ワイン・アドヴォケートのヴィンテージチャートで96点の高評価を獲得！

この年の冬は比較的温暖で、雨や雪が多く、十分な水分量が確保されました。春は涼しかったものの、開花や結実後は順調に進みました。夏は乾燥した気候が続く、極端な高温に見舞われることもありましたが、8月上旬に激しい豪雨があり、一部の地域では雹の被害も見られましたが、影響は限定的でした。その後は気温が上昇したものの、9月後半になると夜間は涼しく、ネッビオーロの成熟に理想的な条件が整いました。収穫は10月6日~18日にかけて実施。収量は2020年比で約10%減少しましたが、前年より粒が小さく、ポリフェノールに富んだ高品質なブドウが得られました。その結果、複雑なアロマを湛えた素晴らしいバルバレスコが生まれました。

“卓越したクオリティの2021年。こんなヴィンテージは、7~8年に一度しか巡ってこない”
~プロドットーリ・デル・バルバレスコ マネージング・ディレクター ルカ・クラヴァンツォラ~

《**ジェームス・サックリング.com / 2025年11月20日掲載記事より抜粋**》

同ワイナリーのバルバレスコ DOCG リゼルヴァ 2021 の中では、ポーラが最も親しみやすく、開いた印象。その対極に位置するラバヤは最も力強い。オヴェロは最も厳格なスタイルで、アジリはフレッシュかつエレガント。そして3つの「M」のクリュは、(この順に)タンニンの存在感が増していく。すなわち、フレッシュさと力強さを備えたモンテフィコから(タンニンの)粒子が大きいモンテステファノとムンカゴタへと続く。このシリーズの最後を飾る秀逸なパイエは、この土地が持つ2つの個性である優美さと力強さを兼ね備えている。

《**ヴィノス / 2025年10月掲載記事より抜粋 記者:アントニオ・ガローニ**》

プロドットーリ・デル・バルバレスコが今回リリースしたラインナップは、実に秀逸だ。プロドットーリは、品質の高さと世界市場における圧倒的な流通規模を強みにバルバレスコの最重要生産者として不動の地位を確立している。

2021年リゼルヴァは素晴らしい。9種類全てが驚くほど安定した仕上がりで、こうした年はそう多くない。テイスティングで最初に登場する比較的柔らかい印象の「ポーラ」でさえ、非常に重厚でシアスだ。この年の9種類のワインの生産量はわずかに減った。その理由は2021年と同レベルの優良ヴィンテージ(特に2016年)と比べて、より厳しい選果を行ったことによる。2016年は、より多くの区画のブドウがリゼルヴァに使用された。最後に重要な点として触れておくが、アルド・ヴァッカは2025年末をもって引退予定だ。彼は34年間プロドットーリに在籍し、同ワイナリーの歴史上で最も重要な時期に舵取り役を担ってきた。現役の生産者の中でも彼ほどバルバレスコ、そして、そのワインの世界的な評価を高めた人はいない。私は以前から彼の率直さ、謙虚さ、本質と向き合う姿勢に深い敬意を抱いてきた。こうした資質を備えた人は、時にワインの世界では非常に稀有な存在である。

2021 Barbaresco Riserva Pora

上代価格 ¥11,500(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ ポーラ

JANコード:4543190214797

川の傍に位置する肥沃なポーラの畑は、リッチで恰幅の良い果実味と大地の香り、早熟なタンニンの特徴とするミディアムボディのワインを生みます。

畑の向き:南、南西 面積:10.7ha 標高:200-280m 土壌:石灰・石灰岩・砂 生産量:20,000本

★**ワイン・アドヴォケート 95点**:ポーラは、毎年恒例となるリゼルヴァのテイスティングの幕開けを飾るワインだ。きめ細やかなシルキーな味わいで、より親しみやすい果実味を備え、甘いチェリーやラズベリーを思わせるアロマが前面に感じられる。2021年は、さらに精密さが加わり、驚くほど焦点の定まった、明確な輪郭を持つワインに仕上がっている。その一方で、中盤には若々しい厚みのあるテクスチャーも感じられる。バルバレスコの優雅さを見事に表現したワインで、2021年ならではの卓越したバランスを備えている。《**飲み頃:2026-2048年 | 2026/7/24 掲載**》



★**ワイン・スペクテーター 95点**:チェリーやラズベリー、イチゴの香りにミネラルやフローラルなニュアンスが重なる。味わいは、序盤はよく開いていて円やかだが、徐々に緻密でチョーキーなタンニンが現れる。今でも十分に親しみやすいが、時間とともにさらに素晴らしい進化を遂げるだろう。余韻に長く残る熟した果実味が印象的。《**飲み頃:2028-2047年 | 2026/3/25 掲載**》

★**ヴィノス 95点**:2021年ポーラは、この単一畑シリーズの入門編として最適な一本。しなやかで奥行きがあり、しっかりとした果実の核と卓越したバランスが印象的。深みと骨格を備え、実に魅力的だ。ワイルドチェリーの果実味にスパイス、新しい革、ブラッドオレンジの香りが幾重にも層を成す。特に出来栄のよいポーラで、今後の発展が大いに期待できる。

《**飲み頃:2027-2041年 | 2025/10 掲載**》 他誌評価:★**ジェームス・サックリング 95点**

担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム

Tel.03-3233-3801

Fax.03-3295-5619

Millésimes

2021 Barbaresco Riserva Ovello

バルバレスコ リゼルヴァ オヴェロ

上代価格 ￥11,500(税抜)

JANコード: 4543190214773

9つの畑の中で最も広いオヴェロの畑は粘土質が強く、逞しい力強さと重厚なボディが特徴です。高地の冷涼な気候により、果実味がより強く引き出され、若々しいアロマが感じられます。

畑の向き: 南西、西、南東 面積: 20.3ha 標高: 250-320m 土壌: 石灰・石灰岩・粘土
生産量: 19,431 ボトル+1,951 マグナム

★ワイン・アドヴォケート 96 点: 2021 年オヴェロは中盤にかけて厚みと骨格が際立つ。赤系や紫系果実を思わせる熟した果実味が、味わいに豊かな厚みとふくよかさをもたらしている。凝縮感を備えながらも、シャープで焦点が定まってい、高い評価を集めるヴィンテージにふさわしい完成度を備えている。奥行きのある果実味とフレッシュ感が絶妙なバランスを見せ、力強さとエレガンスを兼ね備えたワインに仕上がっている。《飲み頃: 2027-2052 年 | 2026/7/24 掲載》



★ワイン・スペクテーター 96 点: 生き生きとした表情豊かな赤。ブラックチェリーやブラックベリー、スマイルの香りに仄かなリコリスのニュアンスが重なる。味わいは、ミネラルやタバコの香りとともに中盤にかけて厚みを増してゆき、躍動感のある長い余韻へと続く。複雑性と見事なバランスを備えているが、飲み頃まであと数年寝かせたい。

《飲み頃: 2030-2048 年 | 2026/3/25 掲載》

★ヴィノス 96 点: 2021 年オヴェロは、飲み始めからピリッとした緊張感があり、オレンジピールやミント、チョーク、ホワイトペッパー、砕いた岩を思わせるニュアンスが繊細なタッチで描かれている。生き生きとした引き締まった味わいで、オヴェロの真髄が見事に表現されている。今回試飲したレンジの中でも傑出した 1 本。緊張感のあるワインを好む読者に特にお薦め。《飲み頃: 2027-2041 年 | 2025/10 掲載》

他誌評価: ★ジェームス・サックリング 95 点

2021 Barbaresco Riserva Rio Sordo

バルバレスコ リゼルヴァ リオ ソルド

上代価格 ￥11,500(税抜)

JANコード: 4543190214810

バルバレスコ南部に細長く伸びるリオ・ソルドは、土壌のカルシウム量が低いタンニンが軽く、シルクのような滑らかさを湛えたエレガントなスタイルが特徴です。

畑の向き: 南西 面積: 4.5ha 標高: 220-240m 土壌: 石灰・石灰岩・砂 生産量: 13,333 本

★ワイン・アドヴォケート 95 点: 2021 年リオ・ソルドは、フィネスに富んだ抑制のきいたスタイルで、親しみやすい魅力を持つ。9 種類のリゼルヴァの中では、繊細で軽やかなワインとして位置づけられており、バランスに優れたスタイルを特徴としている。2021 年は、その個性が一層際立ち、洗練された果実味としなやかな骨格、そして美しいバランスが印象的。ミディアム〜フルボディの味わいをシルキーなタンニンが包み込み、このワインが持つエレガントさを際立たせている。力強さが前面に感じられるタイプではないが、チャーミングな魅力と卓越した飲み心地を備えた一本。

《飲み頃: 2027-2052 年 | 2026/7/24 掲載》



★ワイン・スペクテーター 96 点: 濃密でがっしりとした骨格のワイン。奥に潜む濃厚なブラックチェリーやブラックベリーのアロマに鉄や下草のニュアンスが重なり、深みが増す。後味には口中を覆うたっぴりとしたタンニンが感じられるが、全体的にフレッシュで調和が取れている。長い余韻が続く。《飲み頃: 2029-2047 年 | 2026/3/25 掲載》

★ヴィノス 96 点: 2021 年リオ・ソルドは繊細さと力強さを兼ね備え、華やかなアロマが強烈な第一印象をもたらす。重層的で奥行きのある風味としっとりとした骨格。このワインがその真価を発揮するまであと数年は必要だろう。砕いたバラの花びら、シダー、スパイス、タバコの香りがフィネスを生む。2021 年は飲み頃まで時間がかかるが、実力は十分だ。香りが弾けるように広がるフィニッシュは、この上なく素晴らしい。

《飲み頃: 2027-2041 年 | 2025/10 掲載》 他誌評価: ★ジェームス・サックリング 95 点

2021 Barbaresco Riserva Montefico

バルバレスコ リゼルヴァ モンテフィコ

上代価格 ￥11,500(税抜)

JANコード: 4543190214742

リゼルヴァの中で最もボディが重く、石灰質の強い緻密な土壌のためタンニンが強く、しっかりとアロマとミネラルが豊かに感じられる後味が特徴的。全体の印象は、ふくよかと言うよりもすっきりとした印象で余韻に広がる濃厚なミネラルと力強いタンニンは、次の一杯をすぐに飲みたくなる後を引く美味しさです。

畑の向き: 南、南東 面積: 3.9ha 標高: 230-260m 土壌: 石灰・石灰岩 生産量: 16,666 本

★ワイン・アドヴォケート 97 点: リゼルヴァの中でも、堂々たる存在感を放つ一本。豊かなテクスチャーと深みを備え、黒系果実やカシス、ドライチェリーの風味が口中でゆっくりと広がっていく。さらに、背景にあるスパイスやシナモン、リコリス、樟脳を思わせる繊細なニュアンスが、ワインに複雑さと奥行きをもたらしている。モンテフィコは、しっかりと骨格を備えた力強いバルバレスコを生み出す畑だが、2021 年は、その個性がより一層際立っている。

《飲み頃: 2027-2052 年 | 2026/7/24 掲載》



★ワイン・スペクテーター 97 点: ブラックチェリーやブラックベリー、スマイル、鉄、スパイスの風味が香る濃厚なスタイルで、緻密なタンニンが全体を引き締めている。口に含むと深みのある果実味が徐々に強まっていくが、同格のワインと比べるとやや控えめな印象。バランスの良さと洗練された長い余韻を持つ。飲み頃までもう少し寝かせたい。《飲み頃: 2030-2048 年 | 2026/3/25 掲載》

★ヴィノス 97 点: 緊張感を備えた生き生きとしたワイン。モンテフィコは通常、やや厳格な印象になりがちだが、2021 年はエネルギーがありながら、深みのあるテクスチャーを備え、見事な調和を見せる。そうした意味で、このモンテフィコはこのヴィンテージを代表する好例と言える。まるで夢を見ているような圧巻の凝縮感と持続性。終盤にセージや黒鉛、チョーク、ミントの香りが勢いよく立ち上る。

《飲み頃: 2027-2041 年 | 2025/10 掲載》 他誌評価: ★ジェームス・サックリング 96 点

2021 Barbaresco Riserva Montestefano

上代価格 ¥11,500(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ モンテステファノ

JANコード:4543190214759

「バルバレスコのバローロ」と呼ばれる、最もバローロに近い男性的な味わいのワインで、勾配の激しい斜面で水の少ない環境のため、一段とパワフルでタンニンの強いワインに仕上がります。円熟した黒果実を思わせる重厚な味わいのフルボディで、引き締まったタンニンが後味に広がります。

畑の向き:南、南東 面積:3.9ha 標高:230-280m 土壌:石灰・石灰岩 生産量:16,348 ボトル+1,826 マグナム

★ヴィノス 97 点:2021 年モンテステファノは、濃厚で圧倒的な存在感を放つ。芯まで力強く、凝縮感があり、骨太で堂々とした佇まいを見せる。その真価を発揮するには数年の熟成が必要だろう。黒系果実や新しい革、スパイス、メントールのニュアンスが際立つ力強いバルバレスコ。《飲み頃:2027-2041 年 | 2025/10 掲載》

★ワイン・スペクテーター 96 点:カシスやブラックベリー、スマイル、タバコ、スイートスパイスの風味が、この滑らかで果実味豊かな赤ワインを引き立てている。このヴィンテージにしては豊潤で、しっかりとした骨格を持つ。果実味に鉄やミネラルのニュアンスが重なり、奥行きのある余韻がどこまでも続く。《飲み頃:2029-2047 年 | 2026/3/25 掲載》

★ワイン・アドヴォケート 94 点:リゼルヴァシリーズの中でも、濃密で力強い個性を備えた一本。豊かな風味を持ち、ダークフルーツやドライチェリー、ブラックベリーの香りに、仄かなスパイスや深みのあるミネラルのニュアンスが重なる。モンテステファノは、このシリーズの中でも最も熟した果実味を感じさせるワインの一つで、2021 年もドライプラムやイチジクを思わせる風味がその個性をより一層際立たせている。見事な凝縮感とボリューム感のある果実味が印象的。《飲み頃:2027-2048 年 | 2026/7/24 掲載》 他誌評価:★ジェームス・サックリング 96 点



2021 Barbaresco Riserva Muncagota

上代価格 ¥11,500(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ ムンカゴタ

JANコード:4543190214773

ムンカゴタは、標高が高く南東向きのため、朝日の日照量が多く、午後は涼しくなります。ワインは、モンテフィコに似てタンニンが強く、濃厚でフルーティな果実味、フローラルなアロマが特徴です。ミネラル感が少ない分、エレガントな花のアロマがより際立ち、硬質なタンニンが後味に広がります。

畑の向き:南東 面積:4.5ha 標高:250-300m 土壌:石灰・石灰岩 生産量:13,333 ボトル

★ジェームス・サックリング 96 点:バルサミックな香りがグラスから勢いよく立ち上り、ハーブ、ユーカリ、ポプリに加えて、スイカやミントチョコレート風味も漂う。優美なアタックで、熟したエレガントなタンニンが感じられるが、後半にかけてやや(タンニンの)粒の大きさが際立つ。爽やかな酸を伴う風味豊かな長い余韻が印象的。今飲んででも熟成させても美味しく味わえるだろう。《2025/11/18 掲載》

★ワイン・アドヴォケート 95 点:中盤にかけて、ふくよかで厚みのある味わいを見せるムンカゴタは、カシスやワイルドプラムを思わせる熟した果実味を備え、ネッビオーロとしては黒系果実のニュアンスが強い。厚みのあるテクスチャーと力強いアロマを備え、このリゼルヴァシリーズの中でも、スケール感のあるスタイルに仕上がっている。温暖な畑がもたらす豊かな果実味と凝縮感に加え、2021 年が持つ精緻なストラクチャーが、優れたバランスと焦点の定まった味わいを引き立てている。《飲み頃:2027-2050 年 | 2026/7/24 掲載》

★ワイン・スペクテーター 95 点:しなやかな質感と見事なバランスを備えたワイン。イチゴやチェリー、ローズヒップ、ミネラルの風味を伴う生き生きとした味わいで、まるで重力に逆らうかのような軽やかさ。フィニッシュは引き締まっていて、赤系果実の風味がチョーキーなタンニンと溶け合う。《飲み頃:2029-2047 年 | 2026/3/25 掲載》 他誌評価:★ヴィノス 95 点



2021 Barbaresco Riserva Asili

上代価格 ¥12,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ アジリ

JANコード:4543190214735

ヴィノス「Top 100 Wines 2025」で7位を獲得!

アジリは、石灰質の強い土壌のため、バルバレスコのワインの中で最も洗練されたエレガントなスタイルで人気が高く、複雑味のある濃厚な味わいを持ち、赤果実のアロマが豊かに香ります。

畑の向き:南、南西 面積:2.28ha 標高:230-290m 土壌:石灰・石灰岩・砂 生産量:13,333 ボトル

★ヴィノス 98 点:畑の個性とヴィンテージ由来のストラクチャーが見事に融合した魅力的な一本。フローラルなアロマを纏った生き生きとしたアジリは、エネルギーに満ち溢れ、スター的な存在感を放つ。ブラッドオレンジやキルシュ、赤系果実、シダー、ミント、スパイスの香りがグラスから一気に立ち上る。飲み頃まで時間が必要だ。ピュアで実に官能的。《飲み頃:2027-2041 年 | 2025/10 掲載》

★ワイン・アドヴォケート 97+点: このリゼルヴァシリーズの中では、比較的ゆつくりと開いていくタイプだが、内側に力強いエネルギーと躍動感あふれる果実味を蓄えている。実際、そのポテンシャルを十分に発揮するには、さらに数年、瓶内熟成させる必要があるだろう。カシスやダークチェリー、碎石、青い花を思わせる香りが徐々に広がり、ローズマリーやラベンダーオイルのニュアンスがアクセントを添える。これらの香りは時間とともに、より一体感が増し、複雑性を帯びていくだろう。見事な緊張感を持つ、力強さを内に秘めたワイン。今後、長期熟成により、さらなる進化が期待される。《飲み頃:2027-2052 年 | 2026/7/24 掲載》

★ワイン・スペクテーター 97 点:ラズベリーやブラックチェリー、スマイル、ミネラルの風味を湛え、しなやかさで瑞々しい。若い果実味のボリューム感と上質なタンニンが見事に調和し、長期熟成を期待させる。バランスが良く、長い余韻に野生のハーブが香る。《飲み頃:2029-2047 年 | 2026/3/25 掲載》 他誌評価:★ジェームス・サックリング 96 点



2021 Barbaresco Riserva Pajé

バルバレスコ リゼルヴァ パイエ

上代価格 ￥12,000(税抜)

JANコード: 4543190214780

9つの畑の中で最も小さいパイエは、四方を山で囲まれた半円形の盆地で、朝は冷涼で午後は暑く、酸味の強い若々しくフレッシュな果実味が特徴です。鮮やかで生き生きとした快活さを湛えつつも複雑味のある濃厚な味わいで、バランスのとれたタニックな後味が広がります。

畑の向き: 南西、西 面積: 1.8ha 標高: 220-260m 土壌: 石灰・石灰岩・砂 生産量: 13,333本

★ジェームス・サックリング 98点: 驚くほど深みのある香りを持つ表情豊かな赤。乾燥したスミレやバラ、魅惑的なバルサミックのニュアンスに加えて、イチゴやチェリーの香りが広がる。さらにミントを思わせる青葉の軽やかなニュアンスも漂う。アタックはエレガントで、よく熟したタンニンがビロードのように滑らかで引き締まっている。凝縮感と旨味があり、爽やかな酸が全体を引き締め、幾重にも層を成す長い余韻に石を思わせるミネラルやリコリスのニュアンスが香る。数十年に渡り熟成可能で、今飲んででも熟成させても美味しく味わえるだろう。《2025/11/18 掲載》

★ワイン・スペクテーター 96点: ミントやメントールの香りが際立つ豊潤な赤で、ブラックチェリーやブラックベリーの果実味が肉厚なテクスチャーに染み渡る。タールや鉄、野生のタイムのニュアンスもあり、後味に感じられる密度の高いタンニンが全体を支えている。バランスの良いワインだが、しっかり馴染むまで時間が必要だ。《飲み頃: 2030-2049年 | 2026/3/25 掲載》

★ワイン・アドヴォケート 95点: 心地よい青系果実の香りに続いて、アイリスの根、スミレ、錆びた鉄を思わせる土やミネラルのような香りが表われる。花とミネラルのニュアンスが前面に感じられ、重層的に広がるアロマに、この畑が持つフィネスがはっきりと表れている。傑出したヴィンテージである2021年は、その凝縮感とエレガンスがさらに際立つ。長年にわたりパイエを象徴してきた、優雅で洗練されたスタイルを見事に体現した一本。《飲み頃: 2027-2048年 | 2026/7/24 掲載》 他誌評価: ★ヴィノス 96点



2021 Barbaresco Riserva Rabaja

バルバレスコ リゼルヴァ ラバヤ

上代価格 ￥12,500(税抜)

JANコード: 4543190214803

ラバヤは、バルバレスコの特徴を全て兼ね備えています。複雑味のあるエレガントな味わい、シルクのように口当たり滑らかなタンニン、濃厚な黒果実の風味が広がる後味が印象的です。

畑の向き: 南西 面積: 3.7ha 標高: 240-300m 土壌: 石灰・石灰岩・砂 生産量: 19,201ボトル+2,066マグナム

★ワイン・スペクテーター 98点: 力強くも控えめなバルバレスコで、チェリーやラズベリー、バラ、土、ユーカリを核とした風味を持つ。鮮やかな酸とともにオレンジピールやアマーロ(イタリア産ビター系リキュール)を思わせる風味がふわりと広がる。タンニンは密度が高く、現時点ではフィニッシュは閉じ気味だ。とはいえ、この赤ワインには威厳があり、眠れる名馬のような風格を感じさせる。《飲み頃: 2030-2050年 | 2026/3/25 掲載》

★ワイン・アドヴォケート 98点: このシリーズでは、力強さの増す順にテイastingが進められ、最後に供されたのが2021年のラバヤだった。砕いたチョークや火打石を思わせる独特のミネラル感が、このワインの個性を鮮やかに表現している。ワイルドベリーやサワーチェリーを思わせる繊細な果実のアロマに、青い花のニュアンスが重なる。全体を包み込む緻密なミネラルのニュアンスが、このワインの個性を際立たせている。特に果実味とミネラルのバランスが絶妙で、どちらか一方が主張し過ぎることはない。きめ細かなタンニンと極めて長い余韻を持つ、焦点の定まった味わいで、傑出した2021年を代表するワインの一つに数えられる。《飲み頃: 2027-2055年 | 2026/7/24 掲載》

★ヴィノス 97+点: 2021年ラバヤは重厚で力強く、爆発的なエネルギーを秘めている。素晴らしいことだが、この重厚なバルバレスコが本領を発揮するまで、しばらく忍耐が必要だ。黒系果実に黒鉛、新しい革、リコリス、焦げた土、砂利を思わせる要素が筋肉質で堂々とした佇まいを際立たせている。グラスの中で開くまで少し時間がかかるが、ひとたび開けば、その出来栄に圧倒される。

《飲み頃: 2027-2041年 | 2025/10 掲載》 他誌評価: ★ジェームス・サックリング 97点

